

科目名	社会福祉演習Ⅲ J					単位	2.0
担当教員	林 博幸						
授業形態	演習	開講期間	前期	配当年次	4	授業番号	3244

●授業のテーマ

福祉政策に問われる今日的な課題

●到達目標

今日の制度改革に問われている課題を明らかにし、現状の到達点、成果や問題点を評価・検証する分析能力を高める。各自の関心・テーマに関する知識・情報や考え方をより確かなものとするために、専門の研究書や現場の報告・統計類を活用して深め、その成果を振り返ってまとめる作業にも習熟する。

●学習内容(授業概要)

3年次から追求してきた学習・研究の内容をさらに深め、今日の福祉政策に問われている改革課題を明らかにしていく。とくに、福祉現場や国民生活に生じている問題点に着目しつつ、それらを改善・克服していく手がかりを見出していく。その際、扱うテーマにかかわる専門の研究(者)や現場実践の姿からも学び、その成果を系統的に積み上げていく。

●学習内容(授業計画)

1. 1年間の狙いと前期の要点、ゼミ運営について
2. 学習・研究テーマの交流、個人発表の計画化
3. 福祉現場の動向と課題
4. 個人の研究発表と議論(児童福祉)
5. (障害者福祉)
6. (高齢者福祉)
7. (公的扶助)
8. (その他)
9. 社会福祉をめぐるトピック(ビデオ等を用いて)
10. 個人の研究発表と議論(児童福祉)
11. (障害者福祉)
12. (高齢者福祉)
13. (公的扶助)
14. (その他)
15. 半期のまとめ—研究成果の交流と夏期休暇中の学習課題

●準備学習・事後学習の内容

研究発表の予定者は事前の準備を早めに行い、相談・指導を経て配付資料の作成や議論に向けた論点等の用意をする。他のメンバーは毎回のテーマに即した関心をもって議論に臨むようにする。議論のなかで残った疑問や追加説明を要する点などは、次回までに調べて補足する

●成績評価方法・基準

- 1) 発表内容や議論への参加状況…60%
- 2) 期末のレポート試験 …40%

●テキスト（必携）
特に用いない。

●参考文献／その他
適宜紹介したり，プリント等を配布する。

●履修上の注意
社会保障・福祉の制度，国民の労働・生活をめぐる話題や情報について，マスコミ等をつうじて日常的に
得ておくこと。
卒業論文の執筆予定者はそのための作業を中心にした計画を立てて取り組むこと。